



「戦争立法」許さない！ 九条の会・全国討論集会

「九条の会」は3月15日、千代田区にある専修大学で全国討論集会を開いた。全国各地の280の九条の会から450人が参加して、安倍暴走政権が企む集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を具体化する「戦争立法」を断じて許さないために、草の根の活動を交流し、活発な討論を展開した。まず「九条の会」呼びかけ人の大江健三郎さんが、韓国で開かれた世界フォーラムで、元フィンランド大統領でノーベル平和賞を受けたマルッティ・アハティサーリさんと会って、日本に「九条の会」というものがあり、それに希望をかけていると言われたことを紹介し、「私たちは応えたい。日本が戦争を起こさないための努力をやらなければならない」と発言。呼びかけ人の澤地久枝さんは、「私たちは憲法九条を持ち、一人の戦死者も出さない時代を守ってきた」と述べ、「みんなが“今あらねばならぬこと”を痛いほどわかっています。怖がらずに一歩でも前に出よう」と呼びかけた。

小森陽一・事務局長が、「いっせいに全国7000の九条の会が動きを強めよう」と訴え、政治的立場を超えた個人・団体の共同を地域の隅々まで広げることが重要だと強調した。

続いて、事務局の渡辺治・一橋大学名誉教授が情勢報告。「安倍政権が企てる戦争立法は、いつでも、どこでも、どんな戦争にも、あらゆる形でアメリカの戦争に加担することを可能にするもので、法律による九条の全面破壊だ」と指摘。「閣議決定だけでは自衛隊は動けない。立法を潰せば『戦争する国』づくりを止めることができると述べた。

そのあと、討論がおこなわれ34人が発言。私も参加した。「戦争する国」はなんとしてもくい止める、いまこそ九条の会の真価を発揮するときと、強い決意と多様な取り組みが語られ、熱気あふれる集会となった。その内容を紹介するスペースはないので、痛感したことを一つ二つ。一つは、署名を身近なところからとりくんでいる経験報告はたいへん大事なことで、向こう三軒両隣りから、のとりくみは耳が痛かった。二つは、今までの枠を超えた人たち、自民党や公明党支持の人たちと語り合っている活動に敬服。一歩出ることから始めよう、何よりも収穫だった。

(代田5丁目・高岡 岑郷)

九条科学者の会・結成10周年

3月21日、結成10周年を記念する、九条科学者の会の記念講演会に参加した。

初めに講演した小森陽一・東大大学院教授/九条の会事務局長は18日に明らかになった与党協議のまとめの内容を分析した。ここでまとまるとされる「戦争法制」が「いつでも」「どこでも」「集団的自衛権」の名のもとに適用される危険性を指摘した。また、15日の九条の会の討論集会について触れ、こうした「戦争法制」を国会に上程させないために、全国の九条の会が草の根運動で、一斉に「世論を変える」ことが重要だと強調した。

次に、広渡清吾・専修大学教授が「戦後70年 「戦後社会」日本の岐路」と題して講演した。広渡教授は、ドイツ政治が専門で、講演においてもドイツと日本の「戦後」を比較しつつ、日本の問題点を浮き彫りにした。日本においても、日本国憲法の制定によって生まれ変わった日本が「戦後社会」であるはずだが、安倍政権は「戦後社会」の原理の転覆を目指しているとして、国内的には「自主憲法」の制定を、国際的には敗戦国の責任、植民地支配・侵略戦争の責任のあいまい化、を図ろうとしている。日本と同じ敗戦国のドイツでは「戦後社会」についてかなり明確な判断がなされている、として、メルケル首相の来日の際の講演などに触れた。これからのこと、として、安倍政権に改憲の企てを許さない、国際的な世論を味方にする、改憲案の国会の発議を阻止する、発議されたら国民投票で否決する、など具体的な項目をあげて今後の行動方針を提起した。ドイツと日本の戦争責任の取り方や近隣諸国との対応の違いなど、最近の動きとも合わせて興味深い講演であった。

(代田2丁目・伊東 宏)



三月十四日午後 下北沢駅周辺で署名活動

下北沢・オオゼキ前で街宣&署名活動

3月14日、まだ風が冷たい土曜日の昼下がり、街宣、署名活動に加わりました。人通りはますますでしたが、振り向いてくれる人はわずかでした。私は画板に署名用紙を挟み、チラシを差し出しながら、「よかったら、読んでください」と笑顔を作り控えめに呼びかけました。無視する人、軽くうなずきながら通りすぎる人、手で振り払うように過ぎ去る人、そんななかにチラシをもらいに來る人、署名をしてくれる人も数人いました。

記憶に残ったのは都外から來られた男性がチラシを求め、署名をして、「このままでは、危ない国になる、何とか食い止めなくては、頑張るって！俺も頑張るから」というような声かけをしてくれたことでした。日常の買い物をしに來る人、下北沢に楽しみを見つけに來る人さまざまですが、自身のために、次世代のために、集団的自衛権、憲法九条のことを考えて行動を起こして欲しいと強く願ったのでした。

(代田5丁目・日暮 恵子)



「若い人こそ知ってほしい！」でいいのかと…

3月14日に代田九条の会の下北沢での宣伝行動が行われました。スーパーオオゼキ周辺には買い物客、休日を楽しむ家族連れや若者など人通りが絶えません。「代田九条の会」ののぼり旗を立て、「代田九条の会」と鮮やかな印刷が目立つ綺麗なリーフレットを皆で配りました。

私は、「若い人にこそ、読んでほしいリーフです」とか「若い人こそ知ってほしいのです」と声をかけながら、若者目指して声をかけました。20歳前後の二人連れの男性は、“よく分からないけど、受け取るか？”という感じでリーフを受取り、顔を見合わせていました。署名を訴えていた人のところでは、若い女性が仲間と一緒に署名をしていました。リーフを受け取らなくとも、通りかかった多くの人に地元代田の住民が「九条の会」を作り、活動していることがアピールできた取組みでした。

私は「戦争立法ノー」の声をもっと多くの人に、特に若い人に伝えるには、どうすればいいのだろうと考えていたのですが、先日4月4日に放映されたNHK「特報首都圏」～私の中の戦争 著名人たちの8月15日～で聞いた言葉が強く響きました。

「戦後70年ということは、69歳以下は戦争を体験していません。戦争を知らないのは、“今の若者”だけではなく、69歳以下の大人なのです。」という言葉です。

番組の中では日野原重明さん、桂歌丸師匠、ちばてつやさん、そして高倉健さんが「8月15日」の体験記をご自身の声で語られていました。絶版になっていた『私の8月15日』復刊の企画を知り、高倉健さんは亡くなる3か月前にビデオテープを送ってきたということでした。それぞれ違う8月15日の体験への強い思いが伝わるお話でした。

ノンフィクション作家梯久美子さんが番組の最後に「真に戦争体験記を伝えるとは、戦争を起こさないこと」と語っていました。考えてみれば、69歳以下の大人が少しは戦争を知っていると思っているのは、実際に戦争を体験した人たちから語り、伝えられてきたからなのですよね。大人がもっともっと戦争体験記に耳を傾け、学び、「戦争ノー」「9条守れ」と行動することが大事なのだと思い新たにしました。

(代田2丁目・寺島 やえ)

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

子供連れの方も多数参加

3月1日(日)下北沢眞龍寺・導了尊(天狗のお寺)の「下北沢 命つなごうプロジェクト」集会に参加しました。あいにくの冷たい雨でしたが、幼子や子ども連れの方も多く約40名の方が参加されました。

以前、代田九条の会でお話して頂いた小倉四郎さんが「元原発技術者が伝えたい本当のこと」と題して講演。レジメとBWR概略フロートをもとに35年の原発技術者としての経験にもとずいて、原発のほんとうのこと、東電福島第一原発の事故はどうなっているのか、「安全神話」を長期に亘って醸成してきた電力会社、経済界、政府、御用学者、大手マスメディア、大手広告代理店など「原子カムラ」の関係者が自覚し、反省しなければならないところだが、彼らは「安全神話」の復活に向けて相変わらず連携をしているのが実情であると。政府が唱える「大義名分」を疑い、事実を直視し自分の感覚を信じて、自分で判断し、小さくても自分でできることを実行するが大事であると話しました。

箱崎作次さん(都内中学校教師。三多摩青年合唱団運営委員長)は、自作の「日本国憲法それは」「教え子を再び戦場に送るな」「いまわたしたちは」など数曲を熱唱。その後、質問、意見交換が行われました。大変有意義な集いでした。

尚、この会は、3.11以降毎月この寺で被災地を結ぶ復興支援チャリティーイベントを開催していることです。
(代田5丁目・小澤 清子)

集会等の紹介

4月18日(土) 午後1時30分～4時

連続講座「憲法を学ぶ会」 参加費：400円

講師：小沢 隆一 さん(慈恵会医科大学教授)

会場：成城ホール4階 集会室E

主催：成城・祖師谷九条の会

(このあと、5月24日(日)、6月13日(土)、7月26日(日)…と継続的に開催予定)

5月3日(日) 午後0時30分～3時30分

平和といのちと人権を！5・3憲法集会～戦争・原発・貧困・差別を許さない～

お話：大江健三郎／樋口陽一／雨宮処凛・落合恵子・香山リカ・澤地久枝／沖縄からの発言

会場：横浜みなとみらい・臨港パーク

主催：5・3憲法集会実行委員会

同封のチラシ参照

参加される方は 1. 12時 みなとみらい駅 「代田・九条の会」の旗の下

2. 戦争をさせない世田谷1000人委員会 呼びかけのバス

午前9:30 三軒茶屋駅 午前9:50 ユリの木公園

午前10:10 八幡山駅前 発 料金2000円

申込/問合せ 根本 090-3046-9404 (27日まで)

6月4日(木) 午後6時半～ 九条の会東京連絡会

「戦争する国」、ゴメンです。

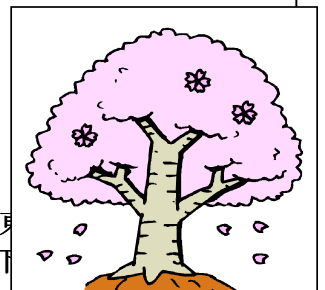
小林節さん、池田香代子さん、宝田明さんなど

参加費：1500円

参加申込期間：5月25日まで、郵便振替口座にて受付

郵便振替口座：記号番号 00180-6-762960 加入者名 九条の会東京連絡会

会場 東京・なかのゼロ大ホール(中野区中野2-9-7) (「中野駅」下車徒歩5分)



お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。